

主婦をネットワーク化

主婦をネットワーク化して事業を展開する企業

北海道札幌市の有限会社PLAN-A(従業員5名、資本金300万円)は、主婦をネットワーク化し、主婦の観点から商品開発等を行う企業である。

同社の竹本相良社長は、起業前に北海道のラジオ番組でフリーランスのパーソナリティーを務めている際に、出産を経験した。当時、フリーランスのパーソナリティーが長期の休暇を取った後にラジオ番組に復帰するのは前例が無く、復帰に大変苦労した経験を持つ。

また、出産後には、子どもを通して専業主婦と付き合う中で、「専業主婦には素晴らしい能力があるのに、社会復帰をあきらめていたのもったいない。」と思い、専業主婦の社会復帰の手助けをしたいと考えようになった。その後、ラジオ番組で子育てを取り上げたり、自分自身のホームページを立ち上げて、主婦の社会復帰を積極的に呼びかけるようになった。

そして、自ら主婦のライフステージに合った働き方ができるように支援する事業を起こすことを決意し、2004年に経済産業省の補助事業「ドリームゲート」を活用して、主婦のネットワークである「MaM-CaN」の運営を開始した。MaM-CaNと名付けたのは「主婦の可能性」と「主婦の才能が缶詰みたいにいっぱい詰まっている」という意味からで、現時点では、札幌市を中心に20～60歳の主婦約2,000名が参加している。

MaM-CaNの主な事業は、マーケティング調査やイベント企画等である。

具体的には、まず、有限会社PLAN-Aが企業からの商品企画等の依頼を受けると、MaM-CaNに登録している主婦の属性情報から適切な会員を選んで調査協力を依頼する。そして、調査報告後に、企業から対価を受け取り、その一部を協力した会員に報酬として支払う。また、最近では、会員による起業の可能性も視野に入れて、会員の購買力を活用したビジネスモデルの構築に取り組んでいる。

これまでの活動としては、北海道雨竜郡沼田町から依頼された規格外のトマトの有効活用の提案や住宅メーカーから依頼された北海道の主婦が理想とする家の企画等の実績がある。



規格外のトマトを活用したトマトソース